

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ばるの木ひえだ		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 11日		2024年 11月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	2024年 11月 11日		2024年 11月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 12月 13日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	環境・体制整備	利用者が十分に身体を動かすことができるスペースがある。 職員1人が担当する子供を2人以内に設定してある。	職員室や療育室の整理整頓。 職員が体力的・精神的に余裕を持って働けるように職員を増やす。
2	適切な支援の提供	こどものアセスメントを行い、保護者のニーズを理解した上で計画を作成している。 こまめに運動内容を変更するなど固定化しない為の工夫がしてある。	ガイドラインの5領域の共通理解を深める。
3	保護者との連携	児童発達支援管理者が必ず参加している。 保護者との会話の中で、積極的に悩みの相談に応じている。	家族支援プログラム(ペアトレーニング)など家族の参加出来る研修の機会や情報提供をしていく。

と

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	関係機関との連携	活動が閉鎖的。	自立支援協議会への参加などから少しづつ外部との関係性を築く。
2	保護者への説明等	活動が閉鎖的で研修や、保護者会などのイベントがない。	ホームページやSNS等の発信を取り入れる。
3	非常時の対応	防災など非常時への意識が低かったり防災マニュアルなどの制作はしているが説明が不十分。	研修などにも参加し、防災の意識を高めて発信する。